

フランス自転車市況－2007

FIEV/CNPC（フランス自転車製造・流通業者評議会）によると、2007年完成車の国内販売は3,528千台に留まり、前年並みを維持した。しかし、国内生産数は対前年比6.6%減となり、また近年急増してきた輸入は前年比17%も減少、2005年をピークにそれ以前の水準に戻りつつある。再輸出した輸入品を除いた実質的な輸出台数は233千台、前年比7%増となり、2007年フランス市場は販売台数こそ前年並みを維持したものの、国内生産はついに100万の大台を切り、国内製造部門は年々下降している。

表 1: 完成車国内販売台数 (単位: 千台)

年	2003	2004	2005	2006	2007
国内販売台数	3,258	3,517	3,706	3,528	3,528

※上記数値はサドルの地上最低高 435 ミリ以下の完成車及び玩具自転車を含む。

表 2: 完成車生産、輸出入 (単位: 千台)

年	2003	2004	2005	2006	2007
生産	1,242	1,181	1,298	1,068	998
輸出	250	450	422	217	233
輸入	1,505	1,851	2,464	2,193	1,826

※上記数値はサドルの地上最低高 435 ミリ以上の完成車のみ。

また玩具自転車も含まない。

平均販売価格については、2007年は248ユーロ(40,176円)と前年比5.5%増、13ユーロ(2,106円)も上昇した。これはロードレーサー、シティ車などの販売が堅調であったこと、更に輸入激増後の余剰在庫処理のため、廉価車の輸入が控えられたことが、平均価格上昇の要因であるとFIEVでは見ている。なお、この平均販売価格には、主にイタリアから輸入されている平均価格50ユーロ(8,100円)未満の玩具自転車(トイ・サイクル)も含まれている。

表 3: 平均販売価格(推移)

年	2003	2004	2005	2006	2007
平均価格	€ 243	€ 242	€ 231	€ 235	€ 248

車種別の販売台数で見ると、昨年販売台数を増やした子供車は、更に前年比12%も増加したが、平均単価は同比10%減となった。ロードレーサーも前年比8%も販売台数を増やし、平均価格上昇のけん引役となった。また、シティ車の販売台数は、前年比35%と急増しており、移動手段として自転車で通勤や通学する人が増えているためではないかとFIEVでは推測

している。その一方、MTBは前年比5%減、MTB(20~24インチ)にいたっては前年比13%も販売台数は減少し、依然MTBが最多販売車種であることに変わりはないが、トレッキング車やシティ車も少しずつ人気を得ており、フランスの消費者嗜好が多様化しつつあるとも見ている。

表 4: 2007 年車種別国内販売台数、平均価格

車種	販売台数(台)	平均価格
MTB	1,047,200	€ 294
MTB(20~24インチ)	620,100	€ 149
子供車	811,800	€ 64
トレッキング車	493,900	€ 268
ロードレーサー	199,400	€ 1,092
シティ車	232,500	€ 214
BMX 及びクロス車	122,700	€ 195
合計	3,527,600	

販売業態別シェアでは、「大型販売店・大型スポーツ店 (Decathlon、Go Sport 等)」のシェアは年々増加し、ついに50%に達した。一方、スーパーマーケット (Carrefour、Intermarche、Leclerc 等) は、販売台数・金額ともに年々シェアを減らしている。自転車小売専門店の販売台数シェアは、昨年より僅かだが減少した。しかし、販売金額シェアでは、依然として過半数を占めている。これは、自転車小売専門店がロードレーサーやMTBのうちで高額スポーツ車を数多く手がけているためである。

表 5: 販売業態別シェア(販売台数ベース)

販売形態	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
大型販売店、大型スポーツ店	36.0%	43.0%	48.0%	48.0%	50.0%
自転車小売専門店	25.0%	24.0%	23.0%	24.0%	23.5%
スーパーマーケット、他	39.0%	33.0%	29.0%	28.0%	26.5%

表 6: 販売業態別シェア(販売金額ベース)

販売形態	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
大型販売店、大型スポーツ店	33.0%	35.0%	35.0%	36.0%	38.0%
自転車小売専門店	50.5%	51.0%	52.0%	53.0%	52.0%
スーパーマーケット、他	16.5%	14.0%	13.0%	11.0%	10.0%

自転車小売専門店は、「独立系」店舗と「フランチャイズ・チェーン(FC)系」店舗に分けられる。平均価格では、独立系店舗が517ユーロ(83,754円)、FC系店舗が576ユーロ(93,312円)と前年比1~2%の微増であったのに対し、大型スポーツ店は、前年比約9%増、188ユーロ(30,456円)となった。一方でスーパーマーケット等の量販は、前年比9%減の95ユーロ(15,390円)と100ユーロの大台を割った。全業態として販売台数、販売金額共に前年を下回る結果となった中で、自転車小売専門店の平均価格は更に上昇し依然として高額である。一方、量販店の平均価格は更に下がり、小売専門店と量販店の差はますます広がっているが、大型販売店及び大型スポーツ店は、小売専門店との差を少しずつ縮めてきている。

部品、付属品については、大型販売店、大型スポーツ店が前年比4%増、量販店は同8%増となったのに対し、自転車小売専門店は前年比3%減の販売額となった。

表 7: 2007年業態別売上台数・金額

販売形態	完成車(台)	完成車(千ユーロ)	部品・付属品(千ユーロ)	完成車平均価格
大型販売店、大型スポーツ店	1,765,900	331,900	239,300	€ 188
自転車小売専門店	834,400	456,000	234,300	€ 545
[独立系店舗]	[410,600]	[212,100]	[104,400]	[517]
[フランチャイズ系店舗]	[423,800]	[243,900]	[129,900]	[576]
スーパーマーケット、他	927,300	88,400	79,900	€ 95
合計	3,527,600	876,300	553,500	€ 248

電動アシスト自転車については、同国大手スーパーが販売を始めるなど、その販売台数の推移が注目されたが、2007年のフランスでの販売台数は前年比66%増の10,000台であった。2006年が6,000台、2005年は3,900台であることを見れば、販売台数は確実に増加している。FIEVによると、平均価格は1,000ユーロ(162,000円)を超えるものと見ている。欧州ではドイツ、オランダ及びイタリアに次ぐ、第4番目の電動アシスト自転車市場として、今後も更なる成長が期待されている。

同国大手メーカー、サイクルヨーロッパのブランド、ジタンでは、現在日本企業のモータ

一、電池ユニットを採用しているが、近年他業種の日本企業がリチウム電池などにより欧州市場参入を目指しているため、それらの動向にも仏自転車産業界は強い関心を寄せている。

統計出所： FIEV/CNPC

以 上

(デュッセルドルフ事務所)